

1. 例会一覽（第 1～100 回）

第1回例会 2000年5月27日(土) 15:00~

報告者：長峯博之（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「カザクの王統について—『カザク・ハン国』という概念の再考—」

第2回例会 2000年7月22日(土) 13:00~

報告者：地田徹朗（東京大学大学院総合文化研究科修士課程）

題 目：「アルマアタ事件再考—事件の性質と民族間関係への影響—」

報告者：野田仁（東京大学大学院人文社会系研究科修士課程）

題 目：「19世紀のセミレチエとイリ、タルバガタイ—クルバンガリーの『東方五史』に見えるカザフ族を中心に—」

第3回例会 2000年8月26日(土) 15:00~

報告者：川口琢司（北海学園大学非常勤講師）・長峯博之（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「ロシア・ウズベキスタン旅行報告」

第4回例会 2000年9月30日(土) 15:00~

報告者：会田理人（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「17-18世紀におけるアストラハン朝の行政機構と中央アジア商人の行動」

第5回例会 2000年10月21日(土) 15:30~

報告者：宇山智彦（北海道大学スラブ研究センター助教授）

題 目：「カザフスタン・クルグズスタン出張報告—文書館等での作業の成果とトラブル—」

第6回例会 2000年11月25日(土) 13:00~18:15

報告者：宇山智彦（北海道大学スラブ研究センター助教授）

題 目：「歴史学、民族、中央ユーラシア」

報告者：坂井弘紀（北海道大学スラブ研究センターCOE 非常勤研究員）

題 目：「中央ユーラシアの叙事詩に謡われる『ノガイ』について」

共 催：東欧・中央ユーラシアにおける「近代」と「ネーション」 第1回研究会

第7回例会 2001年1月13日(土) 15:00~

報告者：川口琢司（北海学園大学非常勤講師）

題目：「コンキラト族小考」

第8回例会 2001年3月10日(土) 14:00~

報告者：岩崎一郎（一橋大学大学院経済学研究科助手）

題目：「ソ連中央統計局内部資料に基づく中央アジア経済発展史—1930-50年代を中心に—」

報告者：輪島実樹（ロシア東欧貿易会ロシア東欧経済研究所研究員）

題目：「中央アジア諸国の貿易構造の変化」

報告者：宇山智彦（北海道大学スラブ研究センター助教授）

題目：「タジキスタンの内戦・和解・国家建設—出張報告—」

共催：「イスラーム地域研究」1班b「中央アジアにおける国際関係とイスラーム」

第9回例会 2001年4月28日(土) 15:00~

報告者：坂井弘紀（北海道大学スラブ研究センターCOE 非常勤研究員）

題目：「オルマンベトとその時代—口頭伝承に表れるノガイ=オルダの有力者について—」

第10回例会 2001年5月26日(土) 15:00~

報告者：森本一夫（北海道大学大学院文学研究科助教授）

題目：「サイド系譜学者イブン・イナバ (d. 828/1424-5) とその作品」

第11回例会 2001年7月21日(土) 15:00~

報告者：長峯博之（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題目：「15世紀後半におけるカザク勢力の確立とトルキスタン地方をめぐる抗争」

第12回例会 2001年9月29日(土) 15:00~

報告者：坂井弘紀（北海道大学スラブ研究センターCOE 非常勤研究員）

題目：「カラカルパクスタン・ウズベキスタン出張報告—国際会議『英雄叙事詩エディゲとその研究』に出席して—」

第 13 回例会 2001 年 11 月 10 日（土） 15 : 00～

報告者：長峯博之（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「14～15 世紀におけるマングト部とチンギス家の諸関係」

第 14 回例会 2001 年 12 月 15 日（土） 15 : 00～

報告者：野田仁（東京大学大学院人文社会系研究科博士課程）

題 目：「1830 年前後のカザフ＝清朝－アヤグズ管区開設に関連して－」

第 15 回例会 2002 年 2 月 16 日（土） 15 : 00～

報告者：宇山智彦（北海道大学スラブ研究センター助教授）

題 目：「カザフ民族意識の発展における知識人とロシア帝政の協働関係－ワリハノフ、アルトゥンサリン、『ステップ地方新聞』－」

第 16 回例会 2002 年 3 月 16 日（土） 15 : 00～

報告者：岡本和也（北海道大学文学部学生）

題 目：「14 世紀後半のジョチ・ウルスにおけるママイ勢力」

第 17 回例会 2002 年 5 月 11 日（土） 15 : 00～

報告者：秋山徹（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「20 世紀初頭におけるカザフ人、クルグズ人の『定住化運動』に関する若干の考察－セミレーチエ州を中心に－」

第 18 回例会 2002 年 6 月 29 日（土） 15 : 00～

報告者：濱口史彦（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「新疆における少数民族問題の概況に関する若干の考察」

第 19 回例会 2002 年 7 月 27 日（土） 15 : 00～

報告者：今野毅（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「オスマン朝期アルバニアにおけるディルリク保持者の軍役」

第 20 回例会 2002 年 9 月 21 日（土） 15 : 00～

報告者：立花優（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「現代アゼルバイジャンの政治状況について」

第 21 回例会 2002 年 11 月 16 日（土）15：00～

報告者：森本一夫（北海道大学大学院文学研究科助教授）・長峯博之（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「ナーシレ・フスラウとその旅行記（I）」

第 22 回例会 2003 年 1 月 11 日（土）15：00～

報告者：後藤絵美（東京大学大学院総合文化研究科博士課程）

題 目：「ターリバーン布告と「顔」—文化史からみるイスラーム復興運動—」

第 23 回例会 2003 年 2 月 8 日（土）15：00～

報告者：川口琢司（藤女子大学非常勤講師）

題 目：「史書『四ウルス』とウルグ・ベク」

第 24 回例会 2003 年 3 月 15 日（土）15：00～

報告者：今野毅（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「15 世紀のミュシュテレク・ティマール—ティマールの保有形態に関する再検討—」

第 25 回例会 2003 年 4 月 19 日（土）15：00～

報告者：秋山徹（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「遊牧民やめます～忘却の彼方から—カザフ・クルグズ研修旅行報告—」

第 26 回例会 2003 年 6 月 21 日（土）13：00～17：00

報告者：長谷部圭彦（東京大学大学院人文社会系研究科博士課程）

題 目：「オスマン帝国における総合大学の設立」

報告者：秋葉淳（日本学術振興会特別研究員）

題 目：「オスマン帝国近現代史研究の新潮流」

第 27 回例会 2003 年 8 月 2 日（土）15：00～

報告者：秋山徹（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「ロシア帝国と中央アジア遊牧民社会—遊牧民定住化を巡る—考察—」（スライド付）

第 28 回例会 2003 年 9 月 20 日（土）15 : 00～

報告者：井上岳彦（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「ロシア帝国の南東部国境地域の統治—カルムイク人を中心に—」

第 29 回例会 2003 年 11 月 1 日（土）15 : 00～

報告者：濱口史彦（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「中国・新疆における「反分裂主義闘争」と『ウイグル人』問題」

第 30 回例会 2003 年 12 月 20 日（土）14 : 00～

報告者：木村 暁（東京大学大学院人文社会系研究科博士課程）

題 目：「中央アジアとイランのあいだ—16-19 世紀中央アジア史にかかわる地域区分の問題によせて—」

報告者：河原弥生（東京大学大学院人文社会系研究科博士課程）

題 目：「コーカンド・ハーン国におけるマフドゥームザーダ」

第 31 回例会 2004 年 1 月 24 日（土）15 : 00～

報告者：宇山智彦（北海道大学スラブ研究センター助教授）

題 目：「ロシア帝政期中央アジア史の再検討—兵役・宗教政策と『ロシア化』の問題を中心に—」

第 32 回例会 2004 年 2 月 28 日（土）15 : 00～

報告者：井上あいの（北海道大学文学部学生）

題 目：「ラシードウッディーン著『先人の足跡と現況』の研究」

第 33 回例会 2004 年 4 月 3 日（土）15 : 00～

報告者：岡本和也（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「13 世紀後半におけるジョチ・ウルスとマムルーク朝の外交関係」

第 34 回例会 2004 年 5 月 8 日（土）15 : 00～

報告者：立花優（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「アゼルバイジャン国民議会に関する分析—2000 年実施の議会選挙を中心に—」

第 35 回例会 2004 年 6 月 5 日（土）15：30～

報告者：ザフラー・ターヘリー（東京外国語大学客員教授）

通 訳：森本一夫（北海道大学大学院文学研究科助教授）

題 目：「樂園追放における女性についての歪曲された描写—『諸王への忠告』における女性論の一考察—」

Tasvir-e Vazheguneh-e Zan dar Hobut: Negahi beh Mabhathe Sefate Zanan dar Nasihat-ol-Moluk
（ペルシア語）

第 36 回例会 2004 年 7 月 3 日（土）15：00～

報告者：須田将（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「『市民』たちの管理と自発的服従—ウズベキスタンのマハッラー—」

第 37 回例会 2004 年 9 月 4 日（土）15：00～

報告者：長縄宣博（東京大学大学院総合文化研究科博士課程）

題 目：「カザンの休日—1905 年革命後のムスリム社会と市会—」

第 38 回例会 2004 年 10 月 2 日（土）15：00～

報告者：淵ノ上英樹（アジア独立経済研究所〔福岡県〕）

題 目：「アフガニスタン復興—アムダリアの経済政策—」

第 39 回例会 2004 年 11 月 13 日（土）15：00～

報告者：井上岳彦（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「帝政ロシアとカルムイク人（修士論文執筆状況他）」

第 40 回例会 2004 年 12 月 4 日（土）15：00～

報告者：松田剛将（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「グルジアにおける分離主義勢力」

報告者：濱口史彦（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「中国・新疆ウイグル自治区における『反分裂主義闘争』を中心に—90 年代以降の動向—」

第 41 回例会 2005 年 2 月 14 日（月）16：00～

報告者：前田弘毅（北海道大学スラブ研究センター専任講師）

中央ユーラシア研究を拓く

題 目：「「異人」の諸相—ペルシア語史料とグルジア語史料の間にみえるもの—」

第42回例会 2005年3月26日(土) 15:00~

報告者：黒田賢治(北海道大学文学部学生)

題 目：「国境を越えるイスラーム—近代・前近代のシーア派ウラマーの活動を事例に—」

第43回例会 2005年4月18日(月) 16:30~

報告者：菊田悠(東京大学大学院総合文化研究科博士課程)

題 目：「ソヴィエト近代化の諸相と今日への影響—ウズベキスタン、リシタン陶業の事例より—」

第44回例会 2005年6月4日(土) 15:00~

報告者：須田将(北海道大学大学院文学研究科博士後期課程)

題 目：「国家に対抗しない「市民社会」？—ウズベキスタンの「市民」と「市民社会」—」

第45回例会 2005年7月6日(水) 16:00~

報告者：野田仁(東京大学大学院人文社会系研究科博士課程)

題 目：「西シベリア総督府と伊犁将軍府」

第46回例会 2005年9月10日(土) 15:00~

報告者：マイラ・メメティ(北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程)

題 目：「中国新疆ウイグル自治区における貧困と不就学問題」

第47回例会 2005年10月8日(土) 15:00~

報告者：松里公孝(北海道大学スラブ研究センター教授)

題 目：「ナゴルノ・カラバフ共和国の非軍事化と民主化(1988-2005)」

第48回例会 2005年11月12日(土) 15:00~

報告者：須田将(北海道大学大学院文学研究科博士後期課程)

題 目：「ウズベキスタンの行政府と議会(試論)」

報告者：立花優(北海道大学大学院文学研究科博士後期課程)

題 目：「新アゼルバイジャン党(YAP)とアゼルバイジャン政治」

第 49 回例会 2006 年 1 月 11 日（水） 16 : 30～

報告者：桜間瑛（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「正教の中のイスラーム イスラームの中の正教—受洗タタールの主張と現在—」

第 50 回例会 2006 年 2 月 15 日（水） 16 : 00～

報告者：後藤正憲（北海道大学スラブ研究センター21 世紀 COE 研究員）

題 目：「神々のメタモルフォーゼ—チュヴァシのキレメチ信仰における恐怖と聖性—」

第 51 回例会 2006 年 3 月 8 日（水） 15 : 00～

報告者：菊田悠（東京大学大学院総合文化研究科博士課程）

題 目：「ソヴィエト近代化とイスラーム聖者信仰—カザフスタンとウズベキスタンの事例検討—」

報告者：坂井弘紀（和光大学表現学部専任講師）

題 目：「ノガイ大系における伝説的詩人スプラ・ジュラウについて」

第 52 回例会 2006 年 5 月 27 日（土） 15 : 00～

報告者：荒井幸康（北海道大学スラブ研究センター21 世紀 COE 研究員）

題 目：「ウスチオルダ・ブリヤート自治管区の併合問題—消え行く民族名称行政区画の一例として—」

第 53 回例会 2006 年 6 月 24 日（土） 15 : 00～

報告者：ハジバラ（九州大学大学院比較社会文化学府博士課程）

題 目：「新疆社会における民族的な政治力学」

共 催：科学研究費補助金プロジェクト「ユーラシア秩序の新形成：中国・ロシアとその隣接地域の相互作用」（研究代表者：岩下明裕）

第 54 回例会 2006 年 7 月 27 日（木） 15 : 00～

報告者：生田真澄（神戸大学大学院文化学研究科博士課程）

題 目：「ムスリマはいかにあるべきか—女性をめぐる諸問題に対する Rida' al-Din b. Fakhr al-Din (1858–1936) の見解—」

報告者：後藤正憲（北海道大学スラブ研究センター21 世紀 COE 研究員）

題 目：「財の相互性と信頼関係—チュヴァシ農村社会の変容—」

第 55 回例会 2006 年 9 月 30 日（土） 15 : 00～

報告者：劉旭（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「中国・カザフ石油パイプライン建設に見る石油企業と政府の関係」

第 56 回例会 2006 年 10 月 10 日（火） 16 : 30～

報告者：松里公孝（北海道大学スラブ研究センター教授）

題 目：「非承認アブハジアにおけるパトロン大統領制とアイデンティティ政治」

第 57 回例会 2006 年 11 月 2 日（木） 16 : 30～

報告者：井上岳彦（北海道大学大学院文学研究科博士課程）

題 目：「帝政期カルムイキアの宗教関係」

第 58 回例会 2007 年 1 月 27 日（土） 15 : 00～

報告者：長峰博之（北嶺中・高等学校教諭）

題 目：「カーディル・アリー・ベグとその著作『集史』について—カザン調査報告をか
ねて—」

第 59 回例会 2007 年 2 月 19 日（月） 16 : 30～

報告者：花田智之（北海道大学大学院法学研究科博士後期課程）

題 目：「M.S.ヴォロンツォフ全権総督のカフカス統治プログラム（1845–1854）—アクチ
ュアルなロシア帝国像への視点と展望—」

第 60 回例会 2007 年 3 月 24 日（土） 15 : 00～

報告者：後藤正憲（北海道大学スラブ研究センター21 世紀 COE 研究員）

題 目：「『集団化』とエスノグラフィ—革命期チュヴァシにおける民族誌記述の問題—」

第 61 回例会 2007 年 4 月 28 日（土） 15 : 00～

報告者：立花優（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「アゼルバイジャンにおける政治エリートの変遷」

第 62 回例会 2007 年 5 月 12 日（土） 15 : 00～

報告者：原田恭介（同志社大学神学研究科博士課程）

題 目：「中央アジアにおける解放党の伸張に関する考察」

第 63 回例会 2007 年 6 月 25 日（月） 16 : 30～

報告者：秋山徹（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「シャブダン・バトゥル—その権力空間の構造と成立過程の探求（19 世紀中期～20 世紀初頭—）」

第 64 回例会 2007 年 7 月 21 日（土） 15 : 00～

報告者：地田徹朗（東京大学大学院総合文化研究科博士課程）

題 目：「イスハク・ラッザコフとその政策—フルシチョフ時代中期の連邦中央・共和国（クルグズスタン）関係についての一考察（1957-1961）—」

報告者：風戸真理（京都大学地域研究統合情報センター研究員）

題 目：「モンゴル牧畜社会におけるもう一つの財、銀製品の研究可能性」

第 65 回例会 2007 年 9 月 29 日（土） 15 : 00～

報告者：桜間瑛（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「ムラの休日から国家の祝祭へ—サバントウイの変遷（19-21 世紀）—」

第 66 回例会 2007 年 12 月 4 日（火） 16 : 30～

報告者：藤波伸嘉（東京大学大学院総合文化研究科博士課程）

題 目：「シノド改選問題とオスマン・ギリシア人の政治構造、1910 年」

第 67 回例会 2008 年 1 月 12 日（土） 15 : 00～

報告者：浅村卓生（東北大学大学院国際文化研究科博士課程）

題 目：「理念としてのウズベク語—標準語における母音調和表記の問題—」

第 68 回例会 2008 年 2 月 9 日（土） 15 : 00～17 : 00

報告者：井上岳彦（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「ドン軍の身分と勤務—カルムイク人統治を中心に—」

討論者：志田恭子（北海道大学スラブ研究センター21 世紀 COE 研究員）

第 69 回例会 2008 年 3 月 8 日（土） 15 : 00～

報告者：ハッサン・バイエフ（外科医）

題 目：「チェチェン戦争の傷跡と子どもの医療支援」（ロシア語。日本語要約付）

第70回例会 2008年4月12日(土) 15:00~18:00

報告者：スヘー・バトトルガ（愛知県立大学共同研究員）

題目：「周縁からみるポスト社会主義国家と民族文化の復興—モンゴル西部のカザフ人の事例—」

討論者：後藤正憲（北海道大学スラブ研究センターCOE 共同研究員）

特別企画 2008年4月19日(土) 14:00~17:00

報告者：野田仁（日本学術振興会特別研究員／（財）東洋文庫）

題目：「19世紀前半西シベリアにおけるカザフ草原統治—管区庁の役割からの考察—」

報告者：秋山徹（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題目：「20世紀初頭クルグズ部族首領の葬送儀礼—同時代史・資料による再構成の試み—」（スライド付）

第71回例会 2008年5月30日(金) 17:00~19:30

報告者：竹村寧乃（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題目：「ソ連初期ザカフカス連邦（1922-1936）に関する研究—予算問題にみるソヴィエト同盟・連邦・共和国の三層関係を中心に—」

討論者：松戸清裕（北海学園大学法学部准教授）

第72回例会 2008年6月21日(土) 15:00~19:30

報告者：小野亮介（慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程）

題目：「トルキスタンからテュルク全史へ—1930年代初頭におけるゼキ・ヴェリディ・トガンの言説—」

討論者：長縄宣博（北海道大学スラブ研究センター准教授）

第73回例会 2008年10月18日(土) 15:00~18:30

報告者：久岡加枝（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題目：「音楽に見るグルジア人の民族アイデンティティ—近代における民謡の「発見」とその多声性をめぐる言説—」

討論者：荏原小百合（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程・（社）東洋音楽会会員）

第74回例会 2008年12月20日(土) 15:00~18:30

報告者：須田将（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「生活世界の植民地化—スターリン時代ウズベキスタンの街区組織とソヴィエト公民形成—」

討論者：所伸一（北海道大学大学院教育学研究院教授）

第 75 回例会 2009 年 2 月 26 日（木） 16 : 00~18 : 30

報告者：熊倉潤（東京大学文学部学生）

題 目：「ガプリンスキーとドストエフスキー—『露東協約』と『作家の日記』に見られるロシア・西欧観—」

討論者：望月哲男（北海道大学スラブ研究センター教授）

特別講演会 2009 年 3 月 7 日（土） 15 : 30~

Speaker: Maria Szuppe (CNRS: Mondes iranien et indien, France)

Topic: “Investigating manuscript collections in Central Asia: producers, readers, and owners of books in the 16th–19th centuries”

共 催：北海道大学東洋史談話会

招 聘：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

第 76 回例会 2009 年 5 月 15 日（金） 16 : 00~18 : 30

報告者：井上岳彦（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「医僧は「にせ医者」なのか、「やぶ医者」なのか？—仏教政策と医療政策の結節点としての帝政ロシア種痘事業—」

討論者：後藤正憲（北海道大学スラブ研究センター特任研究員）

第 77 回例会 2009 年 6 月 11 日（木） 16 : 30~18 : 15

報告者：東島雅昌（早稲田大学大学院政治学研究科博士課程・日本学術振興会特別研究員）

題 目：「ポスト・ソヴィエト諸国における選挙不正と権威主義体制の命運—カザフスタンとキルギスの比較分析—」

討論者：大串敦（日本学術振興会特別研究員／北海道大学スラブ研究センター）

藤森信吉（北海道大学スラブ研究センターCOE 共同研究員）

第 78 回例会 2009 年 6 月 21 日（日） 15 : 00~18 : 30

報告者：中寫哲平（筑波大学大学院人文社会科学研究科一貫制博士課程）

題 目：「ラスールザーデのナショナリズム：1910 年代ロシア帝国での活動を中心に」

討論者：竹村寧乃（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

第 79 回例会 2009 年 7 月 25 日（土） 15 : 00~18 : 15

報告者：小田桐奈美（筑波大学大学院人文社会科学研究科博士前期課程）

題 目：「キルギス（クルグズ）共和国における国家語政策一言語・民族・国民をめぐる言説を中心として」

討論者：野町素己（北海道大学スラブ研究センター准教授）

第 80 回例会 2009 年 9 月 6 日（日） 15 : 00~18 : 00

報告者：秋山徹（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「マナプ考—ポスト・ジュンガル期中央アジアにおける政治秩序の再編とクルグズ部族首領権力—」

討論者：後藤正憲（北海道大学スラブ研究センター特任研究員）

第 81 回例会 2009 年 11 月 21 日（土） 15 : 00~18 : 10

報告者：エンリク・マリク（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「中央アジアに対する日本の多国間外交—実質的な協力をめざして—」

討論者：加藤美保子（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

第 82 回例会 2009 年 12 月 5 日（土） 15 : 00~

報告者：滝口良（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「良い土地所有、悪い土地所有—モンゴル・ウランバートル市の土地私有化とその教示—」

討論者：樋渡雅人（北海道大学大学院経済学研究科准教授）

第 83 回例会 2010 年 1 月 9 日（土） 15 : 00~18 : 10

報告者：斎藤祥平（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題 目：「言語学者 H.C.トルベツコイのユーラシア主義（1920-1937 年）—ソ連と社会ダーウィニズムへの挑戦—」

討論者：杉浦秀一（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院教授）

第 84 回例会 2010 年 2 月 27 日（土） 15 : 00~18 : 10

報告者：塩谷哲史（筑波大学大学院人文社会科学研究科准研究員）

題 目：「イチャン・カラ博物館蔵 3894 文書の研究—帝政末期ロシア=ヒヴァ・ハン国間関係の一断面—」

討論者：秋山徹（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

守川知子（北海道大学大学院文学研究科准教授）

第 85 回例会 2010 年 5 月 8 日（土）16：00～18：10

報告者：和崎聖日（日本学術振興会特別研究員／京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

題 目：「フェルガナ盆地・村落住民の生活・自然環境と行動様式—背景音の測定から—」

討論者：菊田悠（日本学術振興会特別研究員／北海道大学スラブ研究センター）

第 86 回例会 2010 年 7 月 3 日（土）15：00～18：10

報告者：須田将（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「「ポリシェヴィズムを習得し、敵を識別することを学べ」—ウズベク作家同盟の文書からみたソヴィエト民族文化の「開花」と大テロラー」

討論者：福田宏（北海道大学スラブ研究センター・プロジェクト研究員）

第 87 回例会 2010 年 7 月 23 日（金）15：30～18：50

報告者：塩野崎信也（京都大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「“サファヴィー朝アゼルバイジャン”の成立」

討論者：守川知子（北海道大学大学院文学研究科准教授）

報告者：立花優（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「レントと財政—アゼルバイジャンにおける分配政治の二重構造—」

討論者：藤森信吉（北海道大学スラブ研究センター・グローバル COE 特任研究員）

共催：科学研究費基盤 B「近代化とグローバル化の文脈における比較帝国史」

第 88 回例会 2010 年 8 月 10 日（火）15：00～18：30

報告者：地田徹朗（東京大学大学院総合文化研究科博士課程）

題 目：「トルクメニスタン政治概観—ベルディムハメドフ「改革」の方向性—」

討論者：須田将（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

立花優（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

共 催：東洋文庫現代イスラーム研究班中央アジア・グループ

昼食懇談会 2010 年 11 月 25 日（木）12：05～12：55

報告者：桜間瑛（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「2010 年全露国勢調査現地報告—タタルスタン共和国の民族問題との関連から—」

第 89 回例会 2011 年 1 月 14 日（金） 15 : 30~18 : 10

報告者：竹村寧乃（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「ザカフカス連邦創設の是非をめぐる議論—1921 年現地新聞の反対意見を中心に—」

討論者：瀧口順也（北海道大学スラブ研究センター非常勤研究員）

第 90 回例会 2011 年 1 月 29 日（土） 15 : 00~18 : 00

報告者：富樫耕介（東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程・日本学術振興会特別研究員・ユーラシア研究所研究員）

題 目：「チェチェン・マスハドフ政権の「外交」政策（1997-99）—戦後平和構築と「未（非）承認国家」を巡る問題—」

討論者：松里公孝（北海道大学スラブ研究センター教授）

報告者：ウラコワ・マハバット（東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程）

題 目：「「二度目の革命」前・中・後のキルギス」

討論者：宇山智彦（北海道大学スラブ研究センター教授）

共 催：科学研究費基盤 A「現代中東・アジア地域における紛争・国家破綻と社会運動」

第 91 回例会 2011 年 2 月 10 日（木） 15 : 00~18 : 00

報告者：クアニシ・タスタンベコワ（筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程）

題 目：「カザフスタンの言語教育政策の現状と課題—少数民族の「母語による教育」の権利とその保障に着目して—」

討論者：桜間瑛（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

共 催：新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」第 4 班

第 92 回例会 2011 年 4 月 16 日（土） 15 : 00~18 : 15

報告者：ハン・ボリ（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「中央アジア高麗人の祭祀儀礼に関わる改宗問題」

討論者：後藤正憲（北海道大学スラブ研究センター助教）

昼食懇談会 2011 年 4 月 22 日（金） 12 : 05~13 : 05

報告者：立花優（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

題 目：「アゼルバイジャン滞在報告」

昼食懇談会 2011年4月28日(木) 12:05~13:05

報告者：アセリ・ビタバロヴァ（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

題目：「タジキスタンの旅」

第93回例会 2011年7月30日(土) 15:00~18:10

報告者：山崎典子（東京大学大学院総合文化研究科修士課程）

題目：「清末民初の中国における「回族」の創出と変容—ムスリム・エリートと国家の関係を中心に—」

討論者：長縄宣博（北海道大学スラブ研究センター准教授）

第94回例会 2011年8月18日(木) 15:00~

報告者：大西健夫（岐阜大学応用生物科学部助教）

題目：「バルハシ湖はなぜアラル海のように干上がらなかったのか？」

討論者：地田徹朗（北海道大学スラブ研究センターGCOE プロジェクト研究員）

第95回例会 2011年10月1日(土) 14:00~18:30

報告者：熊倉潤（東京大学大学院法学政治学研究科博士後期課程）

題目：「ソ連中央アジアの政治エリートの形成—1920年代後半のウズベキスタン共産党中央委員を中心に—」

討論者：須田将（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

報告者：立花優（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程・日本学術振興会特別研究員）

題目：「国内問題としてのナゴルノ・カラバフ問題」

討論者：松田哲（京都学園大学教授）

第96回例会 2012年2月4日(土) 15:00~17:30

報告者：植田暁（東京大学大学院人文社会系研究科博士課程）

題目：「帝政ロシア支配期のクルグズによる騒擾と蜂起—フェルガナとセミレチエの比較を中心に—」

討論者：宇山智彦（北海道大学スラブ研究センター教授）

第97回例会 2012年3月3日(土) 16:00~18:15

報告者：大倉忠人（法政大学大学院政策科学研究科博士後期課程）

題目：「なぜナルン市民は立ち上がったのか—領土「売却」問題を巡るナルン州政府に

中央ユーラシア研究を拓く

おける攻防―

討論者：樋渡雅人（北海道大学大学院経済学研究科准教授）

共 催：科学研究費基盤 A「現代中東・アジア地域における紛争・国家破綻と社会運動」

第 98 回例会 2012 年 5 月 26 日（土）16：00～18：45

報告者：上村明（東京外国語大学非常勤講師）

題 目：「地図と統治―清朝期モンゴルにおける旗の地図をめぐる―」

討論者：吉開将人（北海道大学大学院文学研究科准教授）

共 催：科学研究費基盤 B「近代化とグローバル化の文脈における比較帝国史」

第 99 回例会 2012 年 6 月 16 日（土）15：00～18：45

報告者：清水由里子（中央大学文学部兼任講師）

題 目：「テュルクかウイグルか―20 世紀前半期の知識人の言説に見る民族名称と歴史認識―」

討論者：桜間瑛（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程）

報告者：秋山徹（日本学術振興会特別研究員／（財）東洋文庫）

題 目：「バートゥル考―ロシア帝政期クルグズ人首領層の権威をめぐる―考察―」

討論者：長縄宣博（北海道大学スラブ研究センター准教授）

共 催：科学研究費基盤 B「近代化とグローバル化の文脈における比較帝国史」

第 100 回記念大会 2012 年 7 月 14 日（土）13：30～18：30

<第 1 部>

報告者：川口琢司（藤女子大学文学部兼任講師）

題 目：「ジョチ・ウルス史研究の現状と課題」

報告者：森本一夫（東京大学大学院情報学環准教授・東洋文化研究所兼任）

題 目：「回民が用いた亜文・波斯文典拠―17・18 世紀交替期河南省の碑文の検討から―」

報告者：立花優（北海道大学大学院文学研究科博士後期課程・日本学術振興会特別研究員）

題 目：「中央ユーラシア政治研究の中のコーカサス」

報告者：須田将（北海道大学大学院文学研究科博士課程）

題 目：「スターリンの大テロルとウズベキスタン共産党」

<第2部>

報告者：宇山智彦（北海道大学スラブ研究センター教授）

題 目：「北海道中央ユーラシア研究会の歩みとこれからの中央ユーラシア研究」

討論者：小松久男（東京外国語大学特任教授）

風戸真理（国立民族学博物館外来研究員）

地田徹朗（北海道大学スラブ研究センター学術研究員）

共 催：新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」第4班